

| | |
|--------|---|
| 地 | 理 |
| (問題) | |
| 2020年度 | |

〈2020 R02140015 (地理)〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

| | | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 数字見本 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

- (4) 受験番号は右詰めめで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

| | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|
| | 万 | 千 | 百 | 十 | 一 |
| (例) 3825番⇒ | 3 | 8 | 2 | 5 | |

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章1～5は、近年、日本国内で発生した自然現象や、それに伴う自然災害について説明したものである。よく読んで、あとの問いに答えよ。

- 2011年3月11日に（ a ）半島の東南東約130キロメートルの三陸沖を震源とする、マグニチュード（ b ）の東北地方太平洋沖地震が発生した。地震の発生後、太平洋沿岸の広い範囲に高さ10メートルを超える巨大な津波が押し寄せた。
- 太平洋プレートが（ c ）プレートの下に沈み込むことで生じた火山帯に位置する（ d ）諸島には、火山島が南北に分布している。2013年11月20日に、この（ d ）諸島に属する西之島が約40年ぶりに噴火し、新しい陸地が出現した。現在でも陸地は拡大し続けており、国土地理院と海上保安庁は、領海とEEZとを合わせた海域が拡大する見通しを発表した。
- 2018年7月上旬の豪雨、いわゆる（ e ）豪雨では、大規模な水害や土砂災害が発生し、（ e ）の各地が甚大な被害に見舞われた。このときの豪雨を発生させた原因の一つに（ X ）の形成が挙げられる。
- 2018年9月6日に、マグニチュード6.7の北海道（ f ）東部地震が発生した。この地震によって、土砂崩れや地盤の液状化が発生したほか、北海道では管内のほぼ全域の電力の供給が停止する（ Y ）の状態に陥った。
- 2019年8月7日に、長野県と（ g ）県との県境に位置する浅間山で小規模な噴火が発生し、山麓の（ g ）県嬬恋村や長野原町などでは、微量の降灰が確認された。最近では、気象庁などによって、火山活動の常時監視・観測が続けられている。

問1 文中の空欄a～gに該当する語を下記の語群からそれぞれ一つずつ選び、その記号を解答欄に答えなさい。

- | | | | |
|-------------|----------|-----------|-----------------|
| a (イ. 男鹿 | ロ. 牡鹿 | ハ. 下北 | ニ. 房総) |
| b (イ. 6.0 | ロ. 7.0 | ハ. 8.0 | ニ. 9.0) |
| c (イ. 北アメリカ | ロ. ユーラシア | ハ. フィリピン海 | ニ. インド・オーストラリア) |
| d (イ. 奄美 | ロ. 伊豆 | ハ. 小笠原 | ニ. 八重山) |
| e (イ. 九州南部 | ロ. 九州北部 | ハ. 西日本 | ニ. 東日本) |
| f (イ. 石狩 | ロ. 胆振 | ハ. 空知 | ニ. 十勝) |
| g (イ. 群馬 | ロ. 埼玉 | ハ. 山梨 | ニ. 静岡) |

問2 文中の空欄Xには「次々と発生する発達した積乱雲が、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、強い降水を伴う雨域」を意味する語が入る。この語を解答欄に答えなさい。

問3 文中の空欄Yには「電力供給システムの全系崩壊」を意味する語が入る。この語を解答欄にカタカナで答えなさい。

問4 下線部①に関して、嬬恋村が産地として有名な、夏の冷涼な気候や昼と夜との温度差を利用して栽培されるキャベツ、レタス、はくさい等の農作物の総称を解答欄に答えなさい。

問5 下線部②に関して、日本では火山が噴火すると、火山の東側に降灰することが多い。この理由として考えられる恒常風の名称を解答欄に答えなさい。

問6 下線部③に関して、火山での微小な地殻変動の観測などに用いられており、アメリカ合衆国が運用している人工衛星による測位システムの略称を、解答欄にアルファベット3文字で答えなさい。

II 国連環境計画では、世界を6地域（アジア・太平洋、アフリカ、北アメリカ、西アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカ・カリブ海）に分けて、地域ごとに環境に関する課題をまとめている。以下のA～Fの記述は、この『地球環境概観第6次報告書』（2016年）の抜粋である。よく読んであとの問いに答えよ。

- A. この地域は、2050年までに総人口が25億人と現在の約2倍になると予想される。豊かな天然資源の開発が進む一方で、多くの人びとが安全な飲料水や電気のない生活を送っている。生産性の低い農地が多く、(①) や森林伐採などによる土地の劣化の問題も大きい。
- B. この地域では人口増加に加え、急速な経済成長や都市化に伴う生活スタイルの変化が進む一方で、沿岸部や(②) からなる島しょ国などでは自然災害や気候変動に対する脆弱性が課題である。
- C. この地域では他の地域からの資源の輸入が進み、資源の浪費が指摘されてきた。気候変動対策や「脱炭素化」とよばれる(③) の導入などが行われているが、地球全体のトレンドはこの地域の手にも負えず、「地球の限界」を考慮しなければならない。また、地域統合も進んでいるが、新たな課題も生じている。
- D. この地域は、国のサイズや経済規模に幅があるものの、天然資源や一次産品が輸出に占める割合はおよそ50%に達する。なかでも、(④) や肉などの農産物や鉱産資源の輸出への依存度が增大している。また、国際的な観光が大きな地位を占める地域を擁する。
- E. この地域の環境問題への対応は、投資や政策、組織や技術の点で非常に進展し、大気汚染や水質汚濁は改善された。また(⑤) の採掘方法も近年大きな革新により生産量が增大したものの、環境負荷など新たな課題も生じている。
- F. この地域では平和と安全保障が大きな課題であり、不足する(⑥) の確保やエネルギー利用の効率化、干ばつなどの自然災害対策、若者の雇用対策なども課題である。

問1 文中の空欄①～⑥に最もよくあてはまる語をそれぞれ一つ以下の語群より選び、解答欄に記入せよ。

一次エネルギー 温室効果ガス 化石燃料 小麦 再生可能エネルギー 砂漠化
三角州 サンゴ礁 酸性雨 資源リサイクル ジャガイモ 森林資源 ダイズ
鉄鉱石 バイオ燃料 水資源 レアメタル

問2 文中の下線部(ア)～(カ)に関する以下の説明が正しければ○、誤っていれば×を解答欄に記入せよ。

- (ア) この地域から日本へ輸出される石炭や鉄鉱石の量は6地域中最大である。
(イ) この地域では安価な労働力を求めた海外からの投資により製造業が発達した。
(ウ) この地域の軍事的結合としてNATO、経済的結合としてNAFTAがあげられる。
(エ) この地域における世界遺産登録件数は6地域中最多である。
(オ) この地域ではシュバルツバルトの森林枯死や歴史的建造物の彫刻の溶解などの被害が代表的である。
(カ) この地域で発生する難民が増える一方で、その受け入れを制限しようとする国も増えている。

問3 文章A～Fのうち、A、B、Dはそれぞれどの地域に相当するか、以下の(い)～(へ)の組み合わせから正しいものを選び、解答欄に記号で答えよ。

- | | | | |
|-----|------------|-----------------|-----------------|
| (い) | A. アジア・太平洋 | B. ラテンアメリカ・カリブ海 | D. 北アメリカ |
| (ろ) | A. アジア・太平洋 | B. アフリカ | D. ラテンアメリカ・カリブ海 |
| (は) | A. アジア・太平洋 | B. ラテンアメリカ・カリブ海 | D. アフリカ |
| (に) | A. アフリカ | B. アジア・太平洋 | D. ラテンアメリカ・カリブ海 |
| (ほ) | A. アフリカ | B. アジア・太平洋 | D. 北アメリカ |
| (へ) | A. アフリカ | B. ラテンアメリカ・カリブ海 | D. アジア・太平洋 |

Ⅲ

次の文章は各国の工業について述べたものである。よく読んで問いに答えよ。

- A. この国は農業国としてよく知られるが、工業の歴史は長い。例えば、1981年に首都と高速鉄道で結ばれた（ 1 ）は15世紀以来続く絹織物が盛んな都市であり、高級絹織物産地としての地位を築いた。近代では北東部で産出する鉄鉱石と隣国の石炭を組み合わせ、鉄鋼業が発展したが、こんにちでは鉄鋼業は臨海部へ立地移動している。首都周辺では自動車工業をはじめ様々な工業が集中したが、1960年代に分散政策が講じられた。南西部の都市では周辺各国と協力して航空機工業が発展した。
- B. この国の工業は東部、中部、西部の3つの地域に分けることができ、東部・中部とは（ 2 ）山脈周辺以東の地域である。西部は国内最大の工業地域であり、豊富な鉱産資源と大都市市場を背景に発達した。例えば、ドネツ炭田と（ x ）の鉄鉱石により鉄鋼業が発展しドニエプル工業地域を形成した。現在、この工業地域はこの国から独立した（ 3 ）の領内になる。中部は鉄道の敷設により資源開発が盛んになり、東部の工業とも結びついて発展した。この国ではかつて、各地の豊富な鉱産資源と工業都市を結びつけて地域を発展させる政策がとられていた。東部では河川や湖沼の水力を利用してポーキサイトから（ 4 ）を生産している。また、広大な森林帯を利用して紙・パルプ工業も盛んである。近年、この国は鉱産資源開発がさらに進み、世界でも有数の資源国として経済発展が著しい。
- C. 長く植民地支配を受けたこの国では、中央部の高原で綿花栽培が盛んであり、綿工業が各地で発達した。なかでも高原の西側にはかつてボンベイと呼ばれたムンバイや、同国のマンチェスターと呼ばれた（ 5 ）で綿工業が発達した。植民地支配から独立後、米国の地域開発をモデルとして、東部の（ y ）川流域を中心に大規模な地域開発が行われ、流域に建設されたダムから供給される電力と流域周辺から産出する石炭を結びつけて工業が発達した。さらに下流域へ灌漑用水を供給するなど、この開発は地域発展に寄与した。この国は1990年代から経済開放体制に入り、外国資本の進出があいつぐと2000年代には経済成長が加速し、新興経済大国の一員として注目を集め、耐久消費財の生産だけでなくIT産業の成長が著しい。なかでも同国のシリコンヴァレーと呼ばれた（ 6 ）は、英語圏の企業のソフトウェア開発やコールセンターの立地により発展した。
- D. 「世界の工場」と呼ばれて久しいこの国の工業化は、1970年代後半から本格化した。東部沿海部に経済特区などを設置することで外国の資本と技術を取り入れ、さらに農村部では郷鎮企業と呼ばれる小零細企業を育成することで、低賃金労働力を強みに急速に工業が発展した。一方、こうした発展は、国内で沿海部と内陸部の地域格差を生み、この格差是正のために2000年頃から（ 7 ）と呼ばれる地域開発が進められた。また、広大な国土をもつこの国では鉱産資源が豊富に産出され、それらを原料に工業が発達した。なかでもレアメタルの産出が他国に比べて豊富な点も強みである。今後、この国は（ 8 ）と呼ばれる大陸をまたぐ広域の経済圏構想を進め、さらなる発展を目指している。

問1 文中の空欄1～8に該当する語をそれぞれ一つ解答欄に記入せよ。

問2 文中の空欄x・yに該当する語を下記の語群からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- x (イ. キルナ □. クリヴォイログ ハ. ビルバオ ニ. メサビ)
y (イ. ダモダル □. テネシー ハ. テムズ ニ. メコン)

問3 文章Aの下線部に関連して、下記のうち航空機工業が発達した都市として該当しないものを一つ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- イ. サンパウロ □. シアトル ハ. シドニー ニ. トゥールーズ ホ. トロント

問4 下の表は文章A～Dの4ヵ国における四輪車（乗用車、トラック・バス）の生産台数（2017年）を表している。
このうちA国に該当するものをイ～ニから一つ選び、解答欄に記入せよ。

| 国 | 四輪車生産台数2017年（千台） |
|---|------------------|
| イ | 29,015 |
| ロ | 4,783 |
| ハ | 2,227 |
| ニ | 1,551 |

国際自動車工業会・日本自動車工業会資料による

IV

都市構造と都市問題について述べた文章A～Cを読み、以下の設問に答えよ。

- A. 人類の歴史において、人口の増加が急激に進行しはじめたのは19世紀初頭以降であった。この時期には、ヨーロッパを中心に生産体制の大きな変化である ① が進行し、労働力が農村から都市へと移る時代でもあった。1800年には約 (p) 億人だった世界の人口は、1900年には (q) 億人に達した。そして1950年には (r) 億人を超え、その後この数が倍増するのに27年間しか要しなかった。これと併行して都市に居住する人口比率も上昇の一途をたどった。推計によれば、1800年の時点では、人口10万人以上の都市に住む人口が世界の総人口に占める比率は1.7%にすぎなかった。この数字は1960年には20.1%に上昇した。また国連“World Urbanization Prospects”によれば、2018年には世界の総人口の約 (s) %が都市に居住しているとされる。
- B. 1925年にアメリカで発表された都市構造モデルでは、② を中心として等質地域が同心円状に分布している。このモデルでは、② の対極に住宅機能が配置され、都市周辺に拡がる農村的空間の宅地化を都市の成長の側面と位置づけている。しかし、周辺農地の宅地開発は必ずしも計画的に進むわけではない。その結果、小規模かつ低密度な住宅地の乱立を意味する ③ がしばしば発生し、都市の生活環境にも悪影響を与えている。このため、多くの先進国では都市周縁部の無秩序な住宅開発を抑制する制度が設けられているほか、近年では、鉄道やバス路線などの結節点への学校・病院など生活利便施設の再配置を進め、公共交通網を軸とする小規模で高密度な都市への転換をめざす動きも進んでいる。
- C. ある国・地域における都市の人口について、人口規模第1位の都市（首位都市）を基準として、人口規模第2位の都市の人口数は首位都市の半分、第n位の都市のそれはn分の1となる、とする「ランク・サイズ・ルール（順位・規模法則）」という考え方がある。このランク・サイズ・ルールを基準として、一般的に経済機能が首位都市に集中する国・地域では、首位都市の人口がより突出する一極集中的なプライメイト・パターンを、また都市間で社会・経済活動の分担が進んだ国・地域や、産業の過度な集中を抑制する都市政策を持つ国・地域では、複数の都市が首位都市に近い人口規模で並ぶ、より多極分散的なポリーナリー・パターンをとる傾向が見られる。また、同じ国・地域でも、時代によって上位都市間のパターンは変化する。

問1 文中の空欄①～③に該当する語を解答欄にそれぞれ記入せよ。

問2 波線部ア)に関して、日本でも都市周縁部の無秩序な開発を抑制するため、都市計画法によって国土の約10%に相当する面積が、農林漁業的土地利用に重点をおき、都市的な開発を極力抑制すべき区域に指定されている。この開発抑制区域の名称を答えよ。

問3 波線部イ)に関して、こうした都市構想をどのように呼ぶか、その名称を答えよ。

問4 波線部(x)に関して、以下の表は、日本の各時期における人口規模上位8都市の順位と人口規模を示している。表中の空欄m・nに該当する都市名をそれぞれ答えよ。

| 順位 | 1920年 | | 1960年 | | 2000年 | |
|----|--------|------------|-------|------------|-------|------------|
| | 都市 | 人口 (千人) | 都市 | 人口 (千人) | 都市 | 人口 (千人) |
| 1 | 東京23区* | 2,173 | 東京23区 | 8,310 | 東京23区 | 8,135 |
| 2 | 大阪 | 1,253 | 大阪 | 3,012 | m | 3,427 |
| 3 | n | 609 | 名古屋 | 1,592 | 大阪 | 2,599 |
| 4 | 京都 | 591 | m | 1,376 | 名古屋 | 2,172 |
| 5 | 名古屋 | 430 | 京都 | 1,285 | 札幌 | 1,822 |
| 6 | m | 423 | n | 1,114 | n | 1,493 |
| 7 | 長崎 | 177 | 福岡 | 647 | 京都 | 1,468 |
| 8 | 広島 | 161 | 川崎 | 633 | 福岡 | 1,341 |

出典：国勢調査による

注) *は東京市の人口、また他の都市は各年次の市域にそれぞれ居住する人口

問5 文中の空欄p・q・rに該当する数値の組み合わせとして最も適当なものを下記の語群から一つ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- イ. p 3 q 10 r 18 ㊦. p 9 q 16 r 25
 ハ. p 15 q 28 r 38 ニ. p 22 q 33 r 46

問6 文中の空欄sに該当する数値として最も適当なものを下記の語群から一つ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- イ. 25 ㊦. 40 ハ. 55 ニ. 70

問7 下線部(x)に関して、表中のイ～ホは、イタリア、オーストラリア、ドイツ、バングラデシュ、マレーシアの5カ国における都市に居住する人口比率（都市人口比率）の推移と、2018年の都市人口を示している。このうち、ドイツとマレーシアに該当するものをイ～ホからそれぞれ一つ選び、ドイツは解答欄①に、マレーシアは解答欄②に答えよ。

| 国記号 | 都市人口比率 (%) | | | 2018年の都市人口 (千人) |
|-----|------------|-------|-------|--------------------|
| | 1980年 | 2000年 | 2018年 | |
| イ | 85.6 | 84.2 | 86.0 | 21,307 |
| ㊦ | 42.0 | 62.0 | 76.0 | 24,364 |
| ハ | 66.6 | 67.2 | 70.4 | 41,763 |
| ニ | 14.9 | 23.6 | 36.6 | 60,944 |
| ホ | 72.8 | 75.0 | 77.3 | 63,622 |

出典：国連“World Urbanization Prospects”2018に基づく

問8 下線部(y)に関して、こうした悪影響とは直接関係しないものを以下のイ～ニから一つ選び、該当する記号を答えよ。

- イ. 道路や公共施設の整備・更新の遅れ
- ロ. 高齢者を中心とする買い物難民の発生
- ハ. ヒートアイランド現象の進行
- ニ. 低炭素社会実現の遅れ

問9 下線部(z)に関して述べた以下のイ～ニの短文のうち、正しいものを一つ選び、該当する記号を答えよ。

- イ. オランダは、都市間で機能を分担するネットワーク構造が発達するためポリーナリー・パターンとなる。
- ロ. 島しょ国のインドネシアは、主要な島ごとに経済中心地が発達するためポリーナリー・パターンとなる。
- ハ. 農業と観光業が卓越するニュージーランドは、拠点都市が分散するためポリーナリー・パターンとなる。
- ニ. ベトナムはハノイが首位都市であるが、歴史的経緯から南北に拠点都市を持つポリーナリー・パターンとなる。

[以下余白]

<2020 R02140015 (地理)>

| | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|
| 受験番号 | 万 | 千 | 百 | 十 | 一 |
| | | | | | |
| 氏名 | | | | | |

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

| | | | | | | | | |
|-----|-----|-------|------|--------|-------|---------|--------|--------|
| 問 | I-1 | I-2~6 | II-1 | II-2・3 | III-1 | III-2~4 | IV-1~4 | IV-5~9 |
| 採点欄 | | | | | | | | |

<2020 R02140015 (地理)>

| | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|
| 受験番号 | 万 | 千 | 百 | 十 | 一 |
| | | | | | |
| 氏名 | | | | | |

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

地 理

(解答用紙)

注 意

1. 受験番号(算用数字)・氏名は指示に従ってただちに所定欄に記入し、それ以外に記入してはならない。
2. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
3. 解答は**HB**の黒鉛筆または**HB**のシャープペンシルで書くこと。
4. 試験終了時にはこの解答用紙を裏返して机の上に置き、指示を待つこと。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|--|--|--|--|--|--|
| <p>I 問1</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>a</td><td> </td></tr> <tr><td>b</td><td> </td></tr> <tr><td>c</td><td> </td></tr> <tr><td>d</td><td> </td></tr> <tr><td>e</td><td> </td></tr> <tr><td>f</td><td> </td></tr> <tr><td>g</td><td> </td></tr> </table> | a | | b | | c | | d | | e | | f | | g | | <p>問2</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問3</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問4</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問5</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問6</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> | | | | | |
| a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| f | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| g | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|--|
| <p>II 問1</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>①</td><td> </td></tr> <tr><td>②</td><td> </td></tr> <tr><td>③</td><td> </td></tr> <tr><td>④</td><td> </td></tr> <tr><td>⑤</td><td> </td></tr> <tr><td>⑥</td><td> </td></tr> </table> | ① | | ② | | ③ | | ④ | | ⑤ | | ⑥ | | <p>問2</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>(ア)</td><td> </td></tr> <tr><td>(イ)</td><td> </td></tr> <tr><td>(ウ)</td><td> </td></tr> <tr><td>(エ)</td><td> </td></tr> <tr><td>(オ)</td><td> </td></tr> <tr><td>(カ)</td><td> </td></tr> </table> <p>問3</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> | (ア) | | (イ) | | (ウ) | | (エ) | | (オ) | | (カ) | | |
| ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (ア) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (イ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (ウ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (エ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (オ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (カ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|--|---|--|---|--|--|--|
| <p>III 問1</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1</td><td> </td></tr> <tr><td>2</td><td> </td></tr> <tr><td>3</td><td> </td></tr> <tr><td>4</td><td> </td></tr> <tr><td>5</td><td> </td></tr> <tr><td>6</td><td> </td></tr> <tr><td>7</td><td> </td></tr> <tr><td>8</td><td> </td></tr> </table> | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | <p>問2</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>x</td><td> </td></tr> <tr><td>y</td><td> </td></tr> </table> <p>問3</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問4</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> | x | | y | | | |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| x | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| y | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|--|---|--|--|--|---|--|---|--|--|--|--|---|--|---|--|--|--|
| <p>IV 問1</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>①</td><td> </td></tr> <tr><td>②</td><td> </td></tr> <tr><td>③</td><td> </td></tr> </table> <p>問2</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問3</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問4</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>m</td><td> </td></tr> <tr><td>n</td><td> </td></tr> </table> | ① | | ② | | ③ | | | | m | | n | | <p>問5</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問6</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問7</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>①</td><td> </td></tr> <tr><td>②</td><td> </td></tr> </table> <p>問8</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> <p>問9</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table> | | | ① | | ② | | | |
| ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| n | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

以下には記入しないこと

| |
|-----|
| I-1 |
| |

| |
|-------|
| I-2~6 |
| |

| |
|------|
| II-1 |
| |

| |
|--------|
| II-2・3 |
| |

| |
|-------|
| III-1 |
| |

| |
|---------|
| III-2~4 |
| |

| |
|--------|
| IV-1~4 |
| |

| |
|--------|
| IV-5~9 |
| |